

## 中京大学体育学論叢投稿者へのお願い

印刷時間の短縮と経費節減の為、下記のようにお願いします。

- ①論文は原則としてワープロで作成し、フロッピーを原稿につけて提出して下さい。その際ワープロのソフト名を明記して下さい。
- ②英文抄録は Native speaker の校閲を受けますので、その校閲の終わった最終稿をフロッピーに入れて下さい。

### ③原稿作成の注意事項

#### ・筆者の身分の表示

- 1) 中京大学体育学部ないし体育学研究科に所属する職員に関しては、所属を書かず身分のみ示す。
- 2) 中京大学体育学部あるいは体育学研究科の非常勤講師の場合、非常勤講師の身分を示した後、筆者が希望する場合括弧内に常勤勤務の所属をいれる。
- 3) 中京大学体育学部にも体育学研究科にも直接関係のない筆者は、常勤勤務の所属を書くものとする。

・図は明瞭なもので、そのまま写真に撮ることが可能であること。

・図、表は一枚ずつ台紙か原稿用紙に貼る。

・図、表の挿入箇所は本文原稿の欄外に赤インクで指示する。

・文中に引用した文献は引用順に番号を付け、参考文献にまとめる。文中においては片括弧を付けたアラビア数字で右肩に示す。

例) \*\*\*\* \*1, 2). \*\*\*\* \*4-6).

・引用文献の書き方は雑誌の場合、著者、題目、雑誌名、巻、ページ、発行年次とし、巻の後に：をつける。筆者は全員記載する(例1、例2)。単行本の場合は筆者、書名、引用した章などの題目、ページ、(欧文の場合発行場所)、発行所、発行年次の順に(例3、例4)、単行本の分担執筆の場合は筆者、執筆課題、書名、編者(編者名の後に「編」を入れる。欧文の場合書名の前に「In:」を、編者名の後に「ed.」を入れる)、ページ、(欧文の場合発行場所)、発行所、発行年次の順に(例5、例6)記載する。

例1) 三浦 哉, 北川 薫, 石河利寛. トライアスロン競技をシミュレートした際の運動後半にみられる呼吸循環応答の特性. 体力科学 43: 381-388, 1994.

例2) Kiyonaga A, Arakawa K, Tanaka H, Shindo M. Blood pressure and hormonal responses to aerobic exercise. Hypertension 7: 125-131, 1985.

例3) 大西正健. 実験でみる生化学. 機能する蛋白質: 92-110, 共立出版株式会社, 1990.

例4) Nelson DH. The adrenal cortex: Physiological function and disease: 24-47, Philadelphia · London · Toronto: W.B. Saunders Co, 1980.

例5) 鈴木政登, 伊藤 朗. 運動による利尿状の変化. 図説・運動生化学入門. 伊藤 朗編: 99-110, 医歯薬出版株式会社, 1989.

例6) Straus E, Yalow RS. Differential diagnosis of hypergastrinemia. In: Gastrointestinal Hormones. Thompson JG. ed.: 99-113, Austin: University of Texas Press, 1975.

その他は中京大学体育学論叢寄稿規定に準じて下さい。

平成7年10月18日